

ウェルカムコンサート体験記 (My first experience of the 'Welcome Concert')

日本へとやって来る前、校内行事に ALT としていろいろ参加しながら日本の文化を体験できるような、そんなすばらしい機会があればいいなあ、と考えていたものでした。11月4日(土)に行われた「ウェルカムコンサート」は、まさにそういうイベントだったと思います。この日は、本当に特別な意味をもつ一日でした。というのも、梶原学園の子どもたちが披露するさまざまな伝統芸能を、保護者のみなさん、児童生徒たち、そして先生方が一緒になって楽しむ機会となっていたからです。これほど多くの(そして若い世代の)子どもたちが、自分たちの文化や伝統に関心をもっている様子を見て、僕は感動を覚えました。未来と過去はこんな形でつながることができるんだ……そんな風に思えたのです。



津野山神楽も初めて鑑賞しました。本当に貴重な体験です！

子どもたちと先生方は、本番の日を迎えるまでに、準備と練習に本当に多くの時間をかけてきました。疲れを知らないんじゃないかと思えるくらいに合唱の練習は繰り返されていましたし、選んだ演目を完璧なものに仕上げようと余念がありませんでした。その一方で先生方は、裏方にまわって子どもたちの頑張りを支えておられました。

そうした準備もあって、当日の進行はスムーズでした。どの演目も美しく感動的でしたが、中学生による箏の演奏が一番印象的でした。演奏の間はずっと、箏が奏でる、穏やかで調和のとれた音色を堪能していました……僕にとっては他の何よりも、それがきわ立って「日本的なもの」に聞こえたからです。生徒たちの演奏を直接鑑賞できたことは、とても特別な体験でした。箏の練習にそれまで何度か立ち会ったことがあって、その様子を知っているだけに、当日の演奏はいつそうかけがえのないものを感じられたのだと思います。それから、学年対抗の合唱コンクールも楽しめました。どの学年も見事に歌い、感動的なパフォーマンスを見せてくれました。これが僕にとって初めてのウェルカムコンサートでしたが、梶原学園の子どもたちの持てる力を披露する場であると同時に、学園関係者の一体感を高める、絶好のイベントだと感じました！